

令和5年度事業計画

1 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は3,627万人となり、総人口の29.1%で昨年同率の過去最高となりました。また、高齢就業者数も909万人と過去最多で「就業者総数に占める高齢就業者の割合」においては13.5%となりました。少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中、2025年には約800万人いる団塊の世代が後期高齢者（75歳）となることで、国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会（2025年問題）を迎えます。2025年問題によって生じる問題の中で、最も深刻と言われているのが「労働力不足」であり、年齢にかかわらず働ける社会の実現が求められています。

佐野市においても、「佐野市シニア地域デビュー条例」の制定がなされ、意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を総合的に提供できるシルバー人材センター事業の重要性やシルバー人材センターに対する期待がますます高まっています。

このような状況から、シルバー人材センターは、活力ある地域社会づくりに寄与する公益法人として、高齢化社会を支える活動のさらなる充実を図っていく必要があります。

令和5年度においては、「第3次中長期計画」の5年目となります。新型コロナウイルス感染症の行動制限も徐々に解除され、収束への明るい兆しも見え始めたところですが、物価高騰や消費税法改正に伴うインボイス制度の施行などセンター運営に大きな影響を及ぼす恐れのある新たな不安要素に対し、適切な対応をとり、引き続き、女性会員の拡大を重点とした会員拡大、安全就業の徹底、マッチング機能の強化、デジタル推進、事務局職員のキャリアアップに努め、佐野市や関係機関と連携を図りながら魅力あるセンターを目指し、地域社会の活性化に貢献します。

2 シルバー人材センター事業

(1) 就業機会提供事業

佐野市内の60歳以上の高齢者に対し、次の形態で「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る就業の機会を迅速に提供します。

① 請負・委任

公共や民間から受注した業務をセンター会員に対し「請負・委任」契約により就業機会を提供します。

② 職業紹介事業

公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）と職業紹介事業実施に関する協定を締結し、求職者に対し雇用就業を紹介します。

③ 労働者派遣事業

連合会と労働者派遣事業実施に関する協定を締結し、派遣労働を希望するセンター会員に対し派遣労働機会を提供します。

④ 指定管理事業

佐野市と「佐野市大橋シルバーワークプラザ」、「佐野市大橋高齢者生きがい工房」及び「佐野市田沼シルバーワークプラザ」の管理に関する基本協定を締結し、センター会員に対し「請負・委任」の就業形態により提供します。

(2) 就業機会確保事業

佐野市内の60歳以上の高齢者に対し、「臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務」に係る就業機会を確保するため次の事業を実施します。

① 普及啓発事業

センター事業の基本理念と仕組みを広く周知し、入会促進と就業機会の確保に努めるため次の取り組みを行います。

ア 女性会員の拡大を重点とした各種講習会等の開催を実施して入会促進に努めます。

イ 会員による会員紹介運動の周知方法の強化を図り、入会促進に努めます。

ウ センター事業普及月間（10月）に役員等による広報活動を実施します。

エ イベントへの参画による広報活動を実施します。

オ ホームページ等の充実を図り、センター事業の内容や活動状況の報告などの情報発信を通してセンターのイメージアップにつながるPRを図ります。

カ 趣味を生かしたサークル活動などの企画を行い、就業以外での生きがいづくりの場を提供し、魅力あるセンターづくりに努めます。

② 安全・適正就業推進事業

事故のない安全な就業の推進を図るとともに、法令を順守した適正就業の推進のため次の取り組みを行います。

ア 職員による就業現場の巡回を実施し、安全就業に対する意識強化に努めます。

イ 会員及びお客様に対し「適正就業ガイドライン」の理解と協力を求める啓発活動を積極的に行い、適正就業の徹底を図ります。

ウ ワークシェアリングにより就業機会の公平・均衡と適正就業の推進に努めます。

エ 職群班会議を開催し、安全就業の意識の向上及び適正就業の推進に努めます。

③ 就業開拓推進事業

就業開拓委員会を中心に、就業の拡大に努めるため次の取り組みを行います。

ア 未就業会員の就業相談会を開催し、ニーズに合わせた就業機会の確保に努めます。

イ 仕事情報の提供方法の効率化を図り、スピーディーなマッチングに努めます。

ウ 発注者からの依頼が多い職種や技能を必要とする分野の就業会員が不足しているため、技能講習会を開催し後継者の育成に努めます。

④ 指定管理事業

健康で働く能力や意欲のある高齢者の就業、研修、会議等に活用するシルバーワークプラザ等の効率的、効果的な管理運営に努めます。

⑤ 独自事業

既存事業の拡大及び新規独自事業の創出に努めます。

⑥ 社会参加活動

ボランティア活動を実施し、地域社会への貢献に努めます。

3 法人運営

(1) 理事会

事業執行状況や会員の入会承認など当センターの事業運営にとって重要な案件を審議・決定するため、「招集」「オンライン会議」「決議の省略」など効率的な方法により年20回程度開催します。

(2) 定時総会

事業報告及び決算など当センターの事業運営にとって重要な案件を審議・決定するため、事業年度終了後3か月以内に開催します。

(3) 組織体制の強化

組織の強化を図るため、会員の自主的活動の育成と、自立した運営の推進に努めます。

ア シルバー事業の分野の広がりに伴い、事務局職員に求められる知識、能力も高まっていることから、各種研修等を積極的に受講し、職員のキャリアアップに努めます。

イ 事務作業の効率化を図り、生産性の向上、コスト削減に向けたデジタル化への取り組みを行います。

ウ 理事会、部会、委員会と事務局とで連携を図り活動の充実に努めます。

エ 地域班、職群班と事務局とで連携を図り組織の充実に努めます。

《数値目標》

会員数 500人

契約金額

受託事業 197,253千円

派遣事業 60,035千円